

中央環境審議会 水環境部会（第48回・令和2年2月27日）における  
「瀬戸内海における今後の環境保全の方策の在り方について（答申案）」  
に対する質問・意見

- 全体的によくまとまっている。
- 栄養塩類の増加が原因とみられる課題と減少が原因とみられる課題に対する具体的な対策についての技術的検討は行われているのか。
- 栄養塩類の状況と環境基準の類型指定との齟齬が生じている場合、見直し等も含めても検討しているのか。
- 環境省がイニシアティブをとって、省庁間で調整・連携をしっかりと行うべき。
- 下水道事業は、環境基準の達成のために実施しており、その事業目的を念頭において、慎重に検討いただきたい。
- 別紙の備讃瀬戸のイカナゴの減少について、海砂採取による影響が指摘されると、いきなり結論が書いてある。因果関係を記載する場合は根拠を含めて丁寧に記載すべき。
- 瀬戸内海で課題になっていることを全体として国の政策に反映できるよう取り組んでほしい。